

夏の日差しが厳しい中、子どもたちは元気にプール遊びを楽しんでいます。
プール遊びで「動」、お茶のおけいこで「静」。どちらも大切なぞうぐみでの経験です！！

今月は、お運びさん(亭主)のおけいこ、お客様を『もてなす』という体験をしました。
帛紗(ふくさ)を腰につけ、古帛紗(こぶくさ)にお茶碗を乗せて運ぶ練習では、緊張感いっぱいの子どもたちでした。

*8月のお菓子



・貝
・カニ

*8月のお花



・キンシバイ

帛紗(ふくさ)



古帛紗(こぶくさ)

きんらん どんす めいぶつきれ
金襴や緞子などの名物裂
といわれる裂地きれじで作られています。



帛紗をたたみます。



三角に折ったら、腰につけます。



お菓子どうぞ…。



こぼれないように…、
そ〜と…。



古帛紗の上で正面を向けて…。
『お茶どうぞ。』



*豆知識「和・敬・清・寂」

お茶の心を表す大切なことばです。千利休が500年位前に4つの文字で言い表しています。
お茶を学ぶということはこの心を学ぶことです。

和…お互いどうしが仲良くすること。わかり合えることです。

敬…好き嫌いを超えて、相手を敬うやまう心です。

清…心の中が清らかであること、自分自身が、自分の力で、自分の気持ちを浄きよめることを努力することです。

寂…心の中がどしんと落ち着いて、何物にも動じない心、いざと言う時に後で悔やんだり、失敗しないためには、予め準備をして心のゆとりを持つことが大切です。